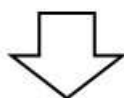


課題(4)～(6)の解決に向けた設定 安山岩質火砕岩の局所性の設定

- 第7回調査会における検討を基に、上部の地質や標高を参考に安山岩質火砕岩の透水係数の空間分布を3つのエリアに大別

孝霊山周辺の 高位標高部	$2.1 \times 10^{-5} \text{m/s}$
計画地周辺～ 低位標高部	$5.0 \times 10^{-4} \text{m/s}$



エリア①'	$1.0 \times 10^{-5} \text{m/s}$
エリア②'	$2.0 \times 10^{-5} \text{m/s}$
エリア③'	$5.0 \times 10^{-4} \text{m/s}$

